

安全マップづくり

地域安全活動／子どもの健全育成を図る活動のひとつとして、地域・交通まちづくりに関する活動のサポートを行っています。



※文部科学省発行「学習指導要領」より

～公立大学法人岩手県立様との「安全マップづくり」サポート～

安全講話	交通ルールや身のまわりの危険について学習
ワークショップ アプリ操作練習	マップづくりのイメージと活動練習 ・どのような情報を集めるか確認、アプリの操作練習
フィールド ワーク アプリ (次頁)	学区を歩き、マップに入れる情報を集める ・見つけた危険を撮影し、内容を記録
記録整理 編集 PC 編集	マップづくり（児童作成版） ・集めた情報を整理、編集して形にする
発表	完成マップのお披露目 ・保護者や地域の方々への発表 発表ツール あります
成果承認	・学内外へのお披露目（学年全体版他） ・下級生等に児童主催の安全教室開催 自己効力感の相互促進、モチベーションアップにつながる機会、意識変容の確認



(小学3年生のフィールドワーク)

総合的学習

安全マップづくりに取り組む意義

1.目的や成果の分かりやすさ

- ・『安全』は万人に重要なテーマ。
- ・理解しやすく、また成果を生かしやすい。

2.発達過程としての重要性

- ・小学3年生は興味や行動範囲が広がるタイミング。
※事故にあいやすい、起こしやすい。

3.知識や経験の積み上げ

- ・より分化した追究が可能になる時期に、『体験型学習』を取り入れる。

4.学びの手法多様化に対応

- ・アプリの活用により、画像やコメントと位置情報を紐付け。
- ・データの重ね合わせ。

児童

大人

- 想像力・発見力・行動力を培う
- 役割を全うする責任
- 共に考える⇒相互的で深い学び
- 振り返り⇒活かす力を育む

- (携わった大人への副効果)
- 子どもの視点／危険を知る
- 自身のリスク(事故)を回避
- 意識や行動の変容

子どもにとっての安心感



まち(地域)と共に変化する交通や環境⇒意識付けて学びの更新が重要です。

使用アプリ

※1：岩手県立大学宇佐美研究室様と(株)ピーべる様による共同開発

フィールドワークアプリ ※1 開発背景

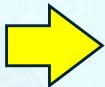
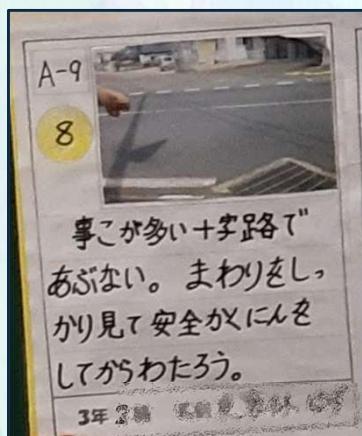
「安全マップづくり」のサポートに携わる中で感じられた課題を解決するために、開発されました。

- 労力過多**…画像の取捨選択・撮影地点確認・画像印刷や切り貼り等
- 不確実性**…撮影画像や地点の記録
- 情報整理**…情報同士の紐付けがなく、データとして残らない
- 情報活用**…単年の集積に留まり、過去年のデータ引継ぎも手作業

解消

撮影地点や経路の自動収集・情報管理の一元化とデータの蓄積

アプリ導入で 正確性・作業効率向上



～作業は大きく2つ～

- ①アプリを起動し撮影、説明文等入力
- ②採用写真を選択、説明文等のPC編集

※活動日時、撮影地点、移動経路を自動記録

◎自由度が高く、学齢や目的に応じてお使いいただけます。

活用例

自然観察…動植物の写真を撮り、気付いたことを記録

まち探検…まちを歩き、防災設備を記録して校内で共有

校外活動…班活動の記録、移動経路の把握（宿泊研修にも）



お気軽にご相談ください
イーハトーブ地域情報マネジメント

Tel : 019-694-3351
mail : nakano@ihatov-im.org